

● 地域の防災について

災害時の防災力を高める役割分担として「自助」「共助」「公助」があります。これは一人ひとりが身を守るために防災について学ぶなどの「自助」、地域で協力して助け合うなどの「共助」、糸魚川市など行政が防災体制の仕組み(対策・支援)づくりをするなどの「公助」になります。これらが相互に協力し合うことで地域における総合的な防災体制や能力はアップします。

近年、多発する自然災害に備え「共助」(地域での取り組み)の重要性が高まっています。地域でできることはありませんか？考えてみましょう。



自主防災の必要性とそのために取り組むポイント

ひとたび大規模な災害が発生したときに行政による対応のみでは、被災者の救助や消火活動には限界があります。普段より地域において自主防災活動を実践し、災害時にお互いに協力し合うことにより被害の軽減を図ることができます。

❖ 地域で取り組むポイント

- 地域内で何でも協力し合える良い関係(グッドコミュニティ)をつくっていきましょう。
- 自治会や町内会を中心に自分たちの住んでいる地域を知り、関心を持ちましょう。
- 自主防災組織の結成と地区防災計画の策定を行い、運用していきましょう。
- 地域で防災に対するイベントや訓練を企画・実施してみましょう。
- 「公助」(行政)と協力し合い、地域の防災に関する不安などを一緒に解消しましょう。



自主防災組織・地区防災計画とは

❖ 自主防災組織

災害が発生したとき、消防を代表するような「防災関係機関」が到着して活動するまでの間、被害の拡大を防ぎ、命を守るためには地域住民一人ひとりがお互いに協力し合う必要があります。防災活動は個々で行うよりも組織として活動したほうが被害を食い止める力も大きくなり効果的なため、自主防災組織の存在が重要になってきます。自主防災組織の活動にあたって大切なのは住民が自発的に取り組み、それぞれの地区の実情(世代など)に合った組織に改善していくことです。



❖ 地区防災計画

災害が起きたときに自分たちの地域の人命や財産を守るための助け合い(共助)について、些細なことでも地域住民が主体となって何かに取り組むことが地区防災計画です。地区防災計画には定まった形はありませんし、他の地区のものと内容が違っていても問題ありません。また、計画書やマニュアルなど書類を作成することが目的ではありません。重要なのは決めたことを実践することです。住民の視点で、地区の規模や特性に合わせた活動を実践し、一度実施して終わりではなく、「計画→実施→振り返り」を繰り返して、改善を重ねながら続けていきましょう。



自主防災組織

地域で防災に対するイベントや訓練を企画・実施してみましょう

さまざまな種類の防災訓練がありますので自主防災組織を中心に地域で企画・実施してみましょう。また、積極的に地域の防災活動へ参加しましょう。糸魚川市では自主防災組織の防災活動に対して補助制度があります。

避難訓練

災害等の緊急事態が発生した際、「迅速」「冷静」「的確」に判断し行動ができるよう、避難経路や備蓄品・持ち出し品の確認のほか、災害の種類により避難のタイミングや避難場所を把握しておくことも重要です。また、住民の安否確認や要配慮者・避難行動要支援者への対応についても必ず確認しておきましょう。



避難所設営訓練

大規模な震災等が発生した際に、被災した地域住民等(避難者)を避難所に受入れるため、避難所となる施設の開設から、資機材の用意、受付や各種スペースの設置といった避難者を受入れるまでの具体的な手順や運営方法を習得するための実践的な訓練です。



応急訓練

応急訓練としては、訓練用の消火器などを使用する消火訓練、心肺蘇生法やAEDの使用法を習得する救急応急措置訓練、救助器具や搬送器具を用いた防災資機材取扱訓練などがあります。



要配慮者・避難行動要支援者の避難に協力しましょう

● 高齢者・病気の方



● 身体の動きが不自由な方



● 目の不自由な方



● 耳の不自由な方



● 日本語に不慣れた外国の方

